

藤沢市教育委員会定例会（４月）会議録

日 時 2004年4月16日（金）午後2時

場 所 藤沢市役所東館2階教育委員会会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の決定

3 前回会議録の確認

4 教育長報告

- (1) 臨時代理の報告について
- (2) 平成16年2月藤沢市議会定例会の開催結果について
- (3) 藤沢市社会教育指導員の委嘱について
- (4) 藤沢市青少年問題協議会委員の委嘱について
- (5) 藤沢市青少年指導員の委嘱について
- (6) 藤沢市図書業務員の委嘱について

5 議 事

- (1) 議案第1号 平成16年度教育施設整備に係る工事計画の策定について
- (2) 議案第2号 藤沢市青少年相談センター運営協議会委員の委嘱又は任命について
- (3) 議案第3号 委員長の選挙について
- (4) 議案第4号 委員長職務代理者の指定について

6 その他

平成16年度重要・主要事業の指定について

7 閉 会

出席委員

1番 中村 喬
2番 數野 隆人
3番 開沼 佳子
4番 平岡 法子
5番 川島 一明

出席事務局職員

教育総務部長	小野 晴 弘	生涯学習部長	西山 三 男
生涯学習部担当部長	関根 克 尚	教育総務部参事	浅木 良 一
教育総務部参事	尾嶋 良 二	生涯学習部参事	齋藤 潔
生涯学習部参事	植木 正 敏	生涯学習部参事	渡辺 恭 博
生涯学習部参事	武 清	生涯学習部参事	田中 正 男
生涯学習部参事	酒井 一 二	学務課長	飯島 広 美
学校教育課長	新井 泰 春	保健給食課長	廣野 賢 二
書記	大橋 久 高	書記	井出 秀 治

択地区の変更、小中学校耐震補強事業の概要などに関する質疑が行われ、討論、採決の結果、賛成多数で可決され、その後本会議におきまして可決されました。

次に、文教常任委員会につきましてご報告いたします。陳情 15 第 69 号「教育基本法の早期改正を求める意見書提出についての陳情」につきましては、中央教育審議会の答申の内容や国の審議状況等に関する質疑、討論が行われ、採決の結果、趣旨了承となりました。

陳情 15 第 86 号「35 人以下学級の早期実現を求める陳情」につきましては、国及び県の方針や考え方などをご説明いたしました。また市が実施した場合には人件費や施設改善費用など、相当な財政負担が発生することなどをご説明し、質疑、討論、採決の結果、趣旨了承となりました。報告につきましては、既に委員の皆様にはご報告し、ご意見もいただいております「教科用図書採択地区の変更（単独化）について」と「ふじさわスポーツ元気プラン実施計画（案）の策定について」の 2 案件を報告させていただきました。

続きまして、代表質問につきましてご報告いたします。はじめに藤沢市公明党の増井秀夫議員でございますが、「教育課題への対応について」という件名で、学校運営について、心の教育について、子どもの居場所づくりについての 3 つの要旨に関するご質問がございました。要旨 1 の学校運営に関するご質問の中で、2 学期制の導入に際して教育委員会の取り組む姿勢、2 学期制を生かした学習指導と評価のあり方、学校評価システムについてのご質問がございました。2 学期制導入に際しては、試行校 8 校からなる連絡会を組織し、さまざまな観点から検討を行ってきたことや、今後はその効果や課題について実践を通じて検証し、その結果を他の学校に還元していく旨を答弁させていただきました。2 学期制を生かした学習指導と評価のあり方につきましては、指導と評価の一体化が重要であることや、確かな学力を身につけることや学習意欲を高める工夫が大切である旨を答弁させていただきました。学校評価システムにつきましては、開かれた学校を目指すため学校評価を行い、その評価結果を公表し、学校改善やアカウントビリターへの対応等に生かしていくことが大切である旨を答弁させていただきました。

要旨 3、子どもの居場所づくりのご質問には、地域子供の家や児童館など、子どもの健全育成を願って整備を進めてきた多くの施設があることや、学校、家庭及び地域が連携した「亀井野小学校放課後子ども支援事業」などをご説明いたしました。

次に、21 社・民 C L U B の古橋宏造議員でございますが、「教育行政について」という件名で、1 つの要旨、教育を取り巻く環境についてで、学校教育ふじさわビジョンや教職員の健康管理についてなどのご質問がござい

た。学校教育ふじさわビジョンをどう学校に定着させていくかのご質問には、研修会や研究会を通じて十分に説明し、周知してきておりますことと、教育委員会としてビジョンの具体化へ向けての検討の視点を各学校に提示し、各学校においてビジョンの具現化を図るよう指導している旨をご説明いたしました。また教職員の健康管理についてのご質問には、病気等で療養休暇を取得している教職員が平成 15 年度 40 人余りで、その 4 人に 1 人がメンタル面での療養休暇である現状をご説明し、教育委員会といたしまして教職員が心の悩みや児童生徒指導など、仕事の悩みを相談できるカウンセラーを配置していることなどを答弁させていただきました。

続いて、日本共産党藤沢市議会議員団の加藤なを子議員でございますが、「子どもたちの発達を保障する教育環境の整備について」という件名で、教育基本法の改正問題について、30 人以下学級の実現について、小中学校の耐震補強の工事についてや学校給食の拡充について、4 つの要旨のご質問がございました。要旨 3、小中学校の耐震補強の工事についての中で、校舎の耐震補強工事と並行して体育館の耐震補強工事も進めることができないかとのご質問には、本市の耐震化に対する基本的な考え方として児童生徒が日常的に学び、生活する校舎棟を優先し、引き続き補強を図っていく旨を答弁させていただきました。要旨 4、学校給食の拡充の中で、西部学校給食合同調理場の対象校となります 4 校の直営自校方式化についてのご質問には、耐震補強工事や学校イントラネット整備事業など、学校施設整備上優先すべき課題が多い旨をご説明申し上げました。

次に、藤沢新政会の諏訪間春雄議員でございますが、「教育行政について」という件名で、2 学期制の導入、絶対評価、学校の安全対策、PTA、青少年の健全育成、教師の指導力向上、学校校務事務の見直し、中央教育審議会の教育基本法答申と学校教育ふじさわビジョンの整合性、教科書採択地区の単独化、学校給食についての 10 項目の要旨に関するご質問がございました。

要旨 4、PTA に関するご質問の中で、PTA の組織率につきましては、平成 16 年 1 月現在におきまして小学校が 85.7%、中学校では 94.7%で、ここ数年来微増傾向でありますことや、児童生徒の健全な成長を図ることを目的として組織された PTA は、学校教育を側面から支援をいただいている重要な団体であることとご説明するとともに、教育委員会といたしましても、さまざまな研修会の支援や情報提供などを通じ、時代に応じた PTA 活動へ支援していく旨を答弁させていただきました。

要旨 5、青少年の健全育成についてのご質問の中では、青少年の健全育成に向けての諸施策は、条例で罰則等を設けることが必要ではないかのご質問に対しまして、国においては青少年の心の教育などさまざまな施策が講じら

れていることや、神奈川県では青少年保護育成条例が制定されていることをご説明し、今後におきましても、神奈川県と連携して条例趣旨の浸透を図るとともに、広域的な取り組みを進めている旨をご答弁申し上げました。以上で、2件目の平成16年2月藤沢市議会定例会の開催結果についてのご報告を終わりとさせていただきます。

次に、3件目の藤沢市社会教育指導員の委嘱についてをご説明いたします。このことにつきましては、2004年3月31日をもって任期満了となりましたことに伴いまして、新たに38人の藤沢市社会教育指導員を委嘱させていただいたもので、委嘱させていただいた方々のお名前は記載のとおりでございます。なお任期は2004年4月1日から2005年3月31日までの1年間でございます。

続きまして、4件目の藤沢市青少年問題協議会委員の任命についてをご説明いたします。このことにつきましては、現委員に3人の欠員が生じたことに伴いまして、その残任期間となります2004年4月1日から2004年12月31日までを任期として任命させていただいたもので、任命させていただいた方々のお名前は記載のとおりでございます。

続きまして、5件目の藤沢市青少年指導員の委嘱についてをご説明いたします。このことにつきましては、2004年3月31日をもって任期満了となりましたことに伴いまして、新たに221人の藤沢市青少年指導員を委嘱させていただいたもので、委嘱させていただいた方々のお名前は記載のとおりです。なお、任期は2004年4月1日から2006年3月31日までの2年間でございます。

続きまして、6件目の藤沢市図書業務員の委嘱についてをご説明いたします。このことにつきましては、2003年3月31日をもって任期満了となりましたことに伴いまして、新たに135人の藤沢市図書業務員を委嘱させていただいたもので、委嘱させていただいた方々のお名前は記載のとおりでございます。なお、任期は2004年4月1日から2005年3月31日までの1年間でございます。以上で、報告を終わらせていただきます。

平岡委員長 ただいまの教育長報告につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

數野委員 奨学金対象者が85人から100人に増やされたというが、希望者はどのくらいあったでしょうか。

新井学校教育課長 今年度は177名の応募者があり、採用率は56.5%になっております。

數野委員 100人にした根拠を教えてください。

新井学校教育課長 平成13年度から85名になりましたが、その都度、実態に応じて見直しをしてきた中で、今回は、応募者が増えてきたのと経済的な状況もかんがみ

て100名になりました。

數野委員 前々年度の応募者は何人いたのでしょうか。

新井学校教育課長 昨年度は133名、前々年度は117名です。

川島委員 高等学校の授業料はいつから9,500円になったのでしょうか。

新井学校教育課長 県は今年度の高校1年生から9,600円になりましたが、我々としては例年並みの9,300円でいくと想定していたのですが、今年度から9,600円になったという情報を得ない中で9,500円に設定させていただきました。9,300円については数年間続いてきたと思います。

川島委員 9,600円なのに9,500円とした理由は何でしょうか。

新井学校教育課長 9,500円に設定した段階では県の授業料が上がることは全く見えていなかったのですが、2月定例市議会のころに情報を得て9,600円を確認したわけです。

川島委員 9,600円にしても良いと思いますが、今後も9,500円でいくのかどうか。

新井学校教育課長 額の見直しもそれぞれ行ってまいりましたが、昨年度までの8,500円は6年間続いてきており平成16年度から9,500円にしたわけですが、それは県立高校の授業料が1つの目安になっておりますが、その差の100円を来年度どうするかということは今のところ考えておりません。

川島委員 あくまでも目安として考えているということですか。

新井学校教育課長 そうです。

數野委員 給付期間は、「高等学校又は中等教育学校の後期課程に就学する正規の最短修業期間」というのは、どういうことなのでしょうか。

新井学校教育課長 中高一貫教育ということで、中等教育学校というものが新たにできております。そういったところに進学する可能性もあるということと、最短修業期間というのは、普通高等学校は3年間ですが、定時制高校は4年間となっております。そういう制度のところに行った時間の設定ということで記載しております。

數野委員 中等教育学校の後期課程というの何でしょうか。

新井学校教育課長 中高一貫学校というのがありますが、その高等学校の課程を指していません。

開沼委員 社会教育指導員の研修への参加率はどのくらいでしょうか。

齋藤生涯学習部参事 社会教育指導員は1年という任期で設定しておりますが、新しく社会教育指導員になられた方については、年度初めに市役所に来ていただいて、公民館に新しく来られた職員とともに生涯学習担当職員が研修をしております。期間はおよそ1週間程度で、年度初めに連続的に1週間というわけにはいきませんので、4月、5月、6月の中で研修をしております。

開沼委員 全員出席することが可能なのでしょうか。

齋藤生涯学習部参事 新しく来られた方については全員出席していただく形になっておりまして、ほぼそのような形になっていると思っております。

開沼委員 指導員相互の情報交換はどのようになっているのでしょうか。

齋藤生涯学習部参事 定期的な情報交換の場は設けておりませんが、公民館ではサークル連絡会などいろいろな団体がありまして、その交流が公民館相互で行われております。社会教育指導員は、公民館職員のお手伝いという形ですので、そのサークル連絡会の相互の情報交換等を通じて交流がされているということです。

數野委員 指導員は女性が多いようですが、業務内容はどのようなものですか。また、指導員は公募、推薦のどちらの方法によるのですか。

齋藤生涯学習部参事 社会教育指導員の業務内容は、公民館活動の指導、助言、各サークルの育成、指導です。具体的には公民館で行っております事業の計画、企画、プログラムづくり、講座開設の準備、学級講座の運営、公民館だよりの編集委員会への援助等でございます。また、指導員の採用については、各公民館長の推薦となっております。公民館職員のお手伝いということから公民館活動に熟知している人、公民館活動を実際にやっていて、その地域の実情等についてよくご存じの方、就任してすぐに仕事に慣れていただくというような側面もありまして、公募はしておりません。ちなみに今回 38 名の指導員を委嘱したわけですが、全員女性で、そのうち今まで社会教育指導員でなかった新任者は 7 名です。

數野委員 7 名は、5 年を限度とするという規定でやめられたのでしょうか。

齋藤生涯学習部参事 5 年の任期を経過した方が 6 名、自己の都合で退職した方が 1 名ですので、新任 7 名ということになります。

數野委員 同じ公民館に、同じ年度に指導員になると、任期が来た等で一度に抜けてしまうということがないような配慮はされていますか。

齋藤生涯学習部参事 事業の継続性が求められますので、社会教育指導員は各公民館に 2 人または 3 人を配置しており、それらが一遍に変わって、全員新任というようなことがないような形で運営されていると理解しております。

數野委員 図書業務員は図書館ごとに委嘱しているのですか。それとも一括で委嘱して、それぞれの図書館に配置しているのですか。そしてその図書館に継続的に配置されているのか。人事交流はありますか。

武生涯学習部参事 図書業務員の採用は一括して総合市民図書館で面接し、採用しますが、配属については 1 ヲ所ということではなく、異動も行います。基本的には住まいの近いところということですが、運営の中ではベテランとそうでない人もおりますし、図書室の運営には能力が期待されますので、それぞれの図書室の状況を見ながら、異動もさせていくという構成になっております。

開沼委員 図書業務員に関して長後市民図書室と鶴沼市民図書室は司書の資格をお持ちの方が1人となっていますが、他の図書室とのバランスは良いのでしょうか。

武生涯学習部参事 図書館の仕事として専門職の司書に限らず、図書室に携わるものは基本的な知識が必要なことは根底にありますが、採用時に司書の資格を持つ方、持たない方もおります。また仕事をしながら通信教育で資格をとられる方もおります。採用条件の中には資料に関する技術、知識だけではなくて社会教育に関する知識、地域における活動も図書室の業務に大きなウエートを占めておりますが、なるべく司書比率を高めていながら、他の要素も考えていきたいと思っております。

開沼委員 関わりながらいろいろな知識を学ぶという意味でもできましたら、司書の資格を持っている方とそうではない方とバランスよく配置して、ともに学ぶ合うような環境になった方がよいのではないのでしょうか。

武生涯学習部参事 図書室職員と仕事をしながら、地域等さまざまな要素を加味し、刺激し合って図書室の運営に携わっていただくことを我々も望んでおります。

開沼委員 今、多くの本が出版されると同時に、早く絶版されてしまう状況の中で、貸し出しが少なくても図書として保管・管理していかなければいけないものもあります。今後、情報社会になればなるほど図書館の重要性が再認識されると思いますので、いろいろ検討をして図書館運営をしていただきたい。

川島委員 社会教育指導員も青少年指導員も図書業務員も定数、任期が決まっている中で人口増とともにニーズも違ってきていると思いますが、この定数や任期でニーズへの対応はどうか、将来の考え方など総合的に伺いたい。

齋藤生涯学習部参事 それぞれの非常勤職員については職務内容が異なります。例えば図書業務員は一般職員と同様に貸し出し業務等を中心に行っておりますけれども、社会教育指導員や青少年指導員は一般職員のお手伝い、その他指導業務というふうに図書館業務員とは若干性格が違います。定数等の執行体制は必ずしも十分ではないかもしれませんが、現在、行政改革中で、経費の節減、執行体制の見直しをしております。計画、企画面は一般職員で、市民対応面は非常勤職員と業務の分担をしながら、多様な市民の要求に対して内容の濃い市民サービスに努めております。

川島委員 限られた予算の中で、ぜひサービスに努めていただきたい。

開沼委員 社会教育指導員は一般職員のお手伝いということですが、職員も厳しい人数と予算で仕事をしています。指導員の役割が重要となっていますので、業務内容も多岐にわたっていますので、相互の情報交換を含めたさまざまな交流の場を検討していただきたい。

齋藤生涯学習部参事 ご趣旨に沿って検討、改善していきたいと思っております。

震補強事業については、今年度の5校が対象になっていると説明されておりますが、基本的には対象校となっている25校が16年度から20年度までの5年間で耐震補強事業を進めていくというふうに意思統一がされています。新しく加わりました重要事業の「の学校安全対策関係事業」は、これまでの学校緊急通報業務に加えて全児童へ防犯ブザーの無料配布を行い、安全確保の向上を図っていくものです。また、「の小・中学校校舎大規模改修事業」は、秋葉台小学校の耐震補強工事に加えて全面改修を行い、教育環境整備と安全性を向上させるものです。

次に、主要事業につきましては、部長を中心として執行及び執行状況の把握を行っているものです。重要な課題や問題などがある場合は、担当助役へ報告をしながら実施をしていくというものです。市全体としての主要事業は55事業となっております。教育総務部としましては6事業ありますが、このうち重要事業でありました「の教育課程推進事業」は、一定の定着が図られましたので、16年度より主要事業に設定いたしました。いじめ対策関係事業は順調に事業展開しているということで主要事業から外させていただきました。「の教育相談関係事業」は、昨年は児童生徒指導関係事業としておりましたが、内容的に今回のタイトルの方がふさわしいということで事業名を変更したものです。その他の事業については、昨年と同様に引き続き設定させていただきました。

齋藤生涯学習部参事 生涯学習部の重要事業は、「の生涯学習大学事業」は、一昨年開校いたしまして引き続き重要事業として、市民の豊かなライフスタイルづくりの支援を基本に運営してまいりたいと思っております。「の生涯学習情報システム事業」は、生涯学習施設それぞれに導入しておりますシステムをネットワーク化したしまして、利便性の向上を図ってまいりたいと思っております。特に16年度については図書館の利便性向上のために市民が直接自宅から図書館資料の検索や予約できるインターネット、及び携帯電話予約システムを17年度から導入するための準備を進めてまいります。「の(仮称)石川方面児童館建設事業」は、市内で5番目の児童館で、建設の場所、財源内訳等は記載のとおりですが、規模は木造平屋建ての約300平米であります。「の公共図書館と学校図書館との連携事業」は、子どもたちの良好な読書環境をつくり出していくことは大変重要と考えております。今後とも学校あるいは先生などと十分な連携を取りながら子どもたちの読書環境の充実・整備に努めてまいりたいと思っております。「の学校体育施設開放推進事業」は、市内の小中学校の体育施設を開放して、多くの市民にスポーツ活動の場として親しまれておりますが、今後は各地域の実情や利用団体の実態を勘案して現行事業を見直し、各地区社会体育振興協議会等への委託など、より積極的、効率的な

開放事業の実現に向けて研究を進めていきたいと思っております。以上です。

平岡委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対してご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。

川島委員 の教育課程推進事業は、事業概要を見ると大変グローバル化したすばらしい理念だが、「新しい知」と「人と人との関係性」について、どの様に客観的に推進しているのか伺いたい。

新井学校教育課長 これは学校教育ふじさわビジョンの根本理念で、昨年5月に策定されたものです。現在、そのビジョンを目標にして各学校で創意工夫ある教育課程を編成するための検討の視点を年度末から年度初めにかけて投げかけているところです。そのビジョンをもとに教育課程を編成して特色ある学校づくりを現在しております。

「人と人との関係性」を育むということについては、人間関係の希薄化は従前から言われておりました、学校教育のあらゆる活動の中で展開しなくてはならない。これは教科、道徳、特別活動すべての教育活動の中で展開していかなければいけない課題であります。それから教育文化センターの学習意識調査にも見られるように、学習意欲の減退が長期傾向にあるということで、魅力ある教育活動も当然求めなければいけないわけです。各学校ではそれを見過ごしてきたということではなくて、不断の努力の中でもそういった傾向があったことから、新たにそのビジョンをつくったわけです。これは教職員だけで克服できる課題ではなくて、さまざまな人たちの援助活動として地域と家庭との連携が必要であると思います。今、地域の人材を計画に入れていく教育活動の展開をしていますかという投げかけをしています。総合的な学習の時間が導入されて、地域の教育力を積極的に活用するという新教育課程推進事業を組んだわけですが、それが十分に機能していないのではないかと。計画的にさまざまな単元をこなすときに計画的に人々の人材を活用してほしいという願いを込めての視点を学校に投げかけているところです。それを重点に取り組む学校もあるでしょうし、地域の実態をかんがみて、教科と心の教育に重点に扱う学校もあるでしょうが、それを各学校の特色と考えております。各学校では職員会を通してビジョンをどう定着させていくか議論がされていると認識しております。集約は5月以降になりますが、まとめ次第、ご提示申し上げたいと考えております。

川島委員 「新しい知」に関してはITがどんどん入っているが、そういう点の知の教育を校長を中心に行って、新しい知を育成するのは、地域と家庭も当然入ると思いますが、その辺はどうでしょうか。

新井学校教育課長 文部科学省は、確かな学力というスローガンを出して、知の側面から見た力をアピールしています。学校ではそれに基づいて学習指導要領の目標に

近づくために教育活動を展開しているわけです。藤沢市としては当然学習指導要領を基盤におきながら藤沢市教育委員会として何を学校教育の中に持ち込もうとしているのかということで「新しい知」というのを投げかけております。これは何も古い知があって新しい知ということではなくて、今こそ新しい知というものを大事にしないといけない時代なのではないか。それは自己を知る力、状況の知、かかわりの知という関係の中で最終的には自分の力がついていって、自分を生かした人に役立つ子どもたちができていくだろうということです。教職員の教育活動の中における不断努力も当然ながら、家庭とか地域の人々の出会いを通して学ぶものが大きいということです。したがって、各学校が学校教育目標を地域に発していく中でビジョンを生かすように指導しているところです。各学校は4月の学校教育目標を学校だよりとして出しておりますが、その中にビジョンをもとにした子ども像は出てきているし、それは当然地域にも発信しているし、その力を借りて地域とともに歩む学校を考えていきたいと思っております。

川島委員 ぜひ藤沢らしい教育というのを知とか人と人との中で生かしていただきたい。

數野委員 の教育情報機器関係事業の「パソコン等の情報機器及びソフトウェアの充実」というのは、重点校を決めて行っているのか、全校同じレベルで行っているのか。また「教職員のパソコン研修を実施し、その利用を促進する」というのは、5年前の計画であって、今は子どもの方が先生よりインターネットを含めてパソコンを上手に扱っているが、先生方をそのレベルまで自己研修させるということでしょうか。

新井学校教育課長 情報機器の充実ということでは、今、パソコンは中学校が40台、小学校は30台設置しておりますが、基本的には40台をベースに考えておりますが、今はイントラネットの構築が課題ですが、今年度は残念ながら予算編成はできませんでした。情報機器の充実については55校を一遍にするのは無理ですので、段階的に各学校を絞って進めていきたいと考えております。教育用ソフトに関しては、ばらつきがないように全校一遍に配置していきたいと考えております。

パソコン研修については、従前からやってきておりますが、現在は操作をするというよりも、どういう教材をどうすれば教科づくりに使えるかというための研修を行っておりますが、中身については学校現場の要望を踏まえながら充実させていきたいと考えております。

數野委員 先生自身がソフトをつくってパワーポイントで授業をするとか、共通の教材を使っただけの研修も必要と思いますが、自分で教材をつくって、時に応じて発表するというところまでのレベルアップは必要だと思います。

の国際教育推進事業では、外国人講師を派遣している学校があるのでしょうか。

新井学校教育課長 コンピュータを利用した教育は、既に中学校段階ではパワーポイントを利用して生徒みずから発表するという力も育っております。先生方の教材というのはコンピュータを利用することによって、より目標に近づくことが容易になるということでやっておりますが、教材開発はあくまでも個人的レベルにとどまっているのが実態ですので、検討委員会とか担当者会で情報提供していきたいと考えております。

国際教育推進事業ですが、中学校では英語教育を中心として1クラス 10時間程度、外国人講師と一緒に勉強しております。小学校では年に2時間程度、国際理解協力員によるゲームや歌、紹介を通じて外国語に触れております。

數野委員 全校でやっているのでしょうか。

新井学校教育課長 中学校 19校に対しましては4人の外国人講師が順番に回っております。小学校の場合は、各学校の要請に基づいて時間調整をしながら一定時間訪問しており、小・中学校と白浜養護学校を含めて全校です。

數野委員 推進という意味は外国人講師をもう少し増やすということも含んでいるのでしょうか。

新井学校教育課長 中学校の1クラス10時間程度の学校訪問は近隣市に比べ若干低いので、もう少し多く訪問ができればいいかと思います。小学校の2時間は、学級数で割ると2時間程度でなく、もう少し増やしていきたいということで予算を増やしてまいりたいと考えております。

數野委員 平成16年度の予算額(2,180万7,000円)は、昨年度より増えているのでしょうか。

新井学校教育課長 子どもたちに対する時間は微増しておりますが、総枠の中では精いっぱいというところです。

川島委員 公立図書館と学校図書館との連携事業に関して、藤沢市は日本でもトップクラスの読書率でいろいろなところから注目されていますが、それが知的地域となって藤沢に住んでみたいとなる要点でもあると思う。公共図書館と学校図書館の連携を主要事業にしたことでは、より発展すると思う。ところが図書館に行ってみるとコンピュータに関する本が古かったり、小説などもきれいでなく、触るのも嫌だというものもある中で、公共図書館と学校図書館との連携というからには何か思いがとおりになるのか、今後どのようにしていくのでしょうか。

武生涯学習部参事 総合図書館は17年前にできて、その後4館が整備されましたが、そのときは機器や資料数、内容も注目されました。市民の身近に施設を配置した

ことでトップレベルの図書館のシステム網を持っておりました。図書館の資源を学校に児童・生徒に先生方の授業に十分に使っていただければ、もっと資料が生きるのではないかと考えております。連携という言葉を使っておりますが、公共図書館側は学校に対して少しでも何かさせていただきたいという気持ちでございまして、そのことによって子どもたちの読書離れがなくなって、書に親しむ中で自発的な学習が高まっていければいいし、クラス単位で図書館を見学してもらって、図書の利用の仕方とかいろいろな資料があるとか、調べ学習や体験学習もやっております。また先生方の授業に必要な団体貸し出しとか必要な部門のものを提供するというようなことも大事な要素ですので、この辺はさらに深めていきたいと考えております。

開沼委員

情報化が進むと便利になる一方で、インターネットからの情報に偏りがちになります。子どもたちには図書館に足を運んで本の匂いをかいで、あの空気の中で、自分が探していったものとは違う新たな発見のある場所という体験を小さいうちにたくさん提供していただきたい。生涯学習大学のお話ボランティアや図書館のボランティアなどがうまくリンクして、情報機器も本も好きというまちづくりにつなげていただければと思います。

次に、国際教育推進事業のうち「外国籍児童生徒の学校教育への適応と指導援助」は、日本語の指導などいろいろな形で巡回指導されているようですが、もう少し詳しく説明していただきたい。

新井学校教育課長

藤沢市の平成 15 年度の外国籍児童数は小中学校合わせて 276 名です。その中で日本語指導を必要とする児童生徒は 114 名で、その子どもたちが学校生活に適応できるように、またその保護者に対して適応するための指導援助を行っております。また藤沢市は湘南台小学校に日本語指導教室を置いてございまして、そこを拠点に日本語を指導しております。それ以外に県は 1 学校に 20 名の外国籍児童がいると国際教室をつくることができるということで 1 名加配しございまして、現在、日本語指導教室を含めて 7 校で行っております。7 校以外の子どもたちについては日本語指導員が学校の要請に応じて訪問して、適応指導を行っております。

開沼委員

それは日本語指導が中心なのでしょうか。日本語指導以外の適応指導はどうなっているのでしょうか。

新井学校教育課長

基本的には日本語指導というよりも子どもたちの慣れない生活を少しでも母国語を通して安らげる居場所をつくるということですが、一番の目的は在学している小・中学校にその子どもが適応していくということだと考えております。

開沼委員

の学校体育施設開放推進事業で、利用状況が伸びていかないので見直しが必要とおもいますが、具体的にお伺いしたい。

この会議の結果を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員